

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧
告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 奈良市立椿井小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒 630 - 8343
奈良市椿井町25番地

E-mail : tsubai-e@naracity.ed.jp

Website : http://www.naracity.ed.jp/ele01/index.cfm/6.html

児童生徒数：男子 名 女子 名 合計 名
児童・生徒の年齢 6 歳 ~ 11 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

◎椿井小学校の学校教育目標及びめざす子ども像






◎国際理解教育

◇ねらい

- ①コミュニケーション能力の育成（人間関係能力の育成と情報活用能力の育成）
異なる文化をもつもの同士が相互に理解しあうために必要なコミュニケーション能力や、自分の見方・考え方を的確に表現する力、さらに他者とのかかわりを通して、自分の考え方・行動の仕方を柔軟に変えいくなることができるような資質・能力の育成を目指す。
- ②他国の文化の理解と尊重（他国文化理解）
世界には、多くの文化や生活様式があることを理解し、それらを尊重していく態度を養う。
- ③自国の文化の理解と尊重（自己文化理解）
郷土やわが国の文化や伝統を学び、それらを尊重する態度を養うとともに、それらと世界との結びつきについて考えさせる。
- ④人権尊重の精神の涵養（人間理解）
多くの文化や生活様式があることを理解し、違いを認め合う態度を養う。
- ⑤世界の現実理解（現実理解）
世界の出来事や環境問題等に関心を持ち、広い視野に立って科学的に物事を考えられる態度を養う

◇各学年の取組


学年・専科	取組み
1 年	<p>◎AL Tの国について知ろう AL Tにわかりやすく読み聞かせよう オーストラリアの自然、食べ物、小学校についてお話を聞く。 国語で学習した「おおきなかぶ」を日本語母語話者ではない相手にわかりやすく伝えるため、はっきり、ゆっくりわかりやすく音読する。</p> <p>◎歯がぬけたらどうするの 日本やいくつかの外国で、抜けた歯をどうするのか、なぜそうするのかを読み、世界には多くの言い伝えや習慣があることに気づく。</p>
2 年	<p>◎ALT の先生の国について知ろう AL Tに自己紹介をした後、AL Tの自己紹介を聞いた。オーストラリアの国のことや学校生活についても教えてもらい、オーストラリアの国に興味を持つことができた。 図工で不思議な魚を描く前に読んだ「スイミー」を英語で読んでもらった。</p> <p>◎伝統的な言語文化 神話や伝承のお話を聞いたり読んだりして、伝統的な言語文化に親しんだ。また、十二支・春の七草・小の月・いろはうたを知り、繰り返し音読することにより、リズムや響きのよさ、昔の人の知恵に気づくことができた。</p>
3 年	<p>◎校区を探検する。 ・校区を探検して校区の様子や自慢を探す。 ・校区地図を作成し、様子や自慢を発表する。 ・グーグルアースから校区や奈良市の様子を知る。</p> <p>◎ALT の先生の国について知ろう ・オーストラリアの国の様子や学校生活について知る。(国・食べ物・小学校での様子等) ・一人ずつAL Tと自己紹介をする。</p> <p>◎地域の伝統産業に学ぶ。 ・古梅園での墨作りの様子を知る。</p>
4 年	<p>◎7月13日 「AL Tとお話ししよう」 AL Tと二人一組になり、時間を1分30秒に限り、これまでの英語活動をもとに会話をすることにした。事前に、自己紹介も含め自分たちが何を話したいのかを考え、それをできるだけ簡単に奈良ボランティアガイドさんに英訳していただいた。また、その時、アイコンタクトをとることやジェスチャーを入れることなど、コミュニケーションの基本も同時に練習していただいた。実際の活動では、児童はとても緊張していたが、話し始めるとAL Tの人柄もあり、打ち解けて話すことができ、コミュニケーションの大切さを実感できたようだ。会話後、全員が集まりAL Tの話・感想を聞いた後、別れ際には多くの児童がAL Tのまわりに集まり、まだまだ話を続けていた様子やそのあといっしょになって運動場へ出てドッジボールをしていたことなどの様子からもそのことがうかがわれる。また、この活動は、AL Tとのコミュニケーションをとることだけを目的にしたのではなく、ボランティアガイドさんとのやり取りの中からもコミュニケーション力をつけようと考えたものである。</p> <p style="text-align: center;">3</p> <p>◎「奈良の町のよさをみつけよう」</p>

	<p>自分たちが住むこの奈良の町のよさを再認識し、この町をこれからも愛し、大切にしていこうとする気持ちや実行力を養うために活動を行った。児童の多くが生まれた時からここ椿井校区に住んでいる。そのため、自分たちの住むこの町を当たり前のようにしか受け止めていない。他の地域と比べるのではなく、自分たちに住む町のよさをあらためて見直すことで、この地域のよさを見直し、そこに愛着・誇りを持ち、より一層この地域を守り、育てようとする意欲を持たせることができると考える。そこで、これまで、学校で行ってきた外国語活動を生かしながら、その目当てに合う活動を考えた。椿井校区は数多くの名所旧跡があり、外国人観光客も数多く訪れる。この観光客にインタビューすることを通して、自分たちの住む奈良の町のよさにまず気づいてほしいと考えた。</p> 
5 年	<p>◎「外国人観光客にインタビュー」 興福寺周辺で、ボランティアガイドの方々の協力を得ながら、外国人観光客へのインタビューを行った。春は、英語が通じた喜びや、奈良が好きだと言ってもらったうれしさを実感することができた。秋には、今までのインタビューに付け加えて、自分がリアクション(反応)することを中心に学習を行ってきた。</p> <p>練習時には、返事に対してリアクションを付けることを恥ずかしがる児童や何を言っていないかわからず、戸惑う児童も見られたが、ボランティアガイドの方々や、英語の時間などの練習を通して、「ワオ!」「ナイス!」などの言葉を、自分から自然と発することができた。秋のインタビュー本番では、落ち着いてインタビューし、自然とリアクションもできていたようである。また手作りのしおりをプレゼントし、外国人の方にも喜んでもらうことができた。</p> <p>◎「オーストラリアの児童との文通～日本のマンガ～」 4年生のころから、オーストラリアに住む同い年の児童との文通をしている。5年生では、日本のマンガを読んでいるという相手に、自分たちの好きなマンガを紹介するため、手描きのマンガの絵を添えた手紙を送った。</p> 
6 年	<p>○小学校における外国語活動のまとめとしての海外の小学校との交流活動を考えた。今まで身に付けた英語表現を使って奈良の良さを海外に発信したり、広く海外に目を向けさせたりしていくことで、子どもたちの「英語をもっと話したい。」</p> <p>「外国のことを理解したい。」と思う気持ちを育むことができるのではないかと考えたからである。</p> <p>○本年度は韓国とテレビ会議を行った。また、スリランカ、スウェーデン、カナダ等6か国の人たちと手紙を通じて交流が図れた。</p> <p>お互いの好きなものや得意なこと、将来の夢を伝え合う中で、お互いの国を理解したり違いに気づいたりすることができた。</p> <p>これらの交流を通して子どもたちは、今まで以上に外国の文化や生活に興味をもち、コミュニケーションできる楽しさや自分の思いが伝わったときの喜びを感じとり、中学校での英語の学びにつながる意欲づけとなった。</p> 

◎たてわり活動 ～2つの国際理解DAY～
 < 2学期 >
 ☆国際理解フェスティバル
 国際理解フェスティバルと称し、各教員がイギリス、ロシア島13か国のブースを作り、各国の国の言葉であいさつを行ったり、クイズを出した。児童は6年生に引きつられ、縦割り班で各ブースを回った。普段は外国語といっても英語にしか触れる機会がなかったが、色々な国の言葉や文化を知ること、世界へ目を向けるきっかけとなった。

< 3学期 >
 ☆メッセTSUBAI
 6年生が各教室で交流を深めている国の文化や友達について紹介を行う。5年生以下の子どもたちは縦割りグループで回り、6年生とそれぞれの国の言葉であいさつを行った後、発表を聞いたり、クイズに答えた。外国語学習ともリンクして行えた事で、より外国語に興味をもて、将来にわたり世界へ目を向けようとする姿勢を芽生えさせられた。

◎6年生によるPICTURE BOOKの読み聞かせ
 椿井小学校では1年生より外国語学習を行ってきている。その学習のまとめの場としても、外国語の絵本を紹介をするという取り組みは、読む側にとっても意欲的に行え、聞き手としても外国の絵本を通して、外国の文化や思考を知るうえで大変貴重な活動となった。



◎世界遺産学習

椿井小学校 ～世界遺産学習～

多角的・総合的に「なら」を題材に学び、地域を誇りに思い、胸を張って地域を語り、仲間と協力して行動できる児童の育成

未来へ

中学校

【基本的な考え方】
 自分を同心円の中心に出会う人やものを広げていきます。
 自分→学校→校区→市内→県内→日本・外国→(未来)
 そして、6年間のまとめとして再び地域に目を向け、自らの生き方につなげていきます。

6年	調べてみよう・探してみよう 「わたしのまちの宝物 ～そして未来へ～」 ・先人の営みを知ろう ・先人の思いを知ろう	平和学習 ヒロシマ	発信しよう ・外国の人へ ・違う学校の人たちへ ・地域の人へ ・違う学年の人たちへ ・クラスメートへ 発信の方法を工夫しよう ・プレゼンソフトを使って ・ビデオレターをつくって ・お芝居にして ・クイズをつくって ・パンフレットをつくって
5年	調べてみよう・探してみよう (世界遺産学習) ・世界遺産って何だろう？ ・わたしのまちの世界遺産		
4年	調べてみよう・探してみよう (奈良市→奈良県) ・地域の行事に参加しよう (大宿所祭) ・県内の暮らし、産業	福祉 バリアフリー調べ 車いす体験 環境 ごみの行方 水道の仕組	
3年	調べてみよう・探してみよう (校区→奈良市) ・校区探検に出かけよう (公共施設、昔の暮らし) ・伝統産業 (奈良筆、古梅園) を調べよう ・奈良公園に行ってみよう		
2年	町探検 ・どんなお店があるのかな？ ・どんなお仕事をしてるのかな？ 奈良公園に行ってみよう (自然) 東大寺、元興寺、興福寺、春日大社 校区の中で秋を探そう		
1年	学校探検 ・どんな部屋があるのかな？ ・どんなお仕事をってるの？ 奈良公園に行ってみよう 校区の中で秋をさがそう	地域の人とふれあおう 昔遊び	

まとめよう

- ・パソコンを使って
- ・模造紙や画用紙を使って
- ・ノートを工夫して

調べよう

- ・インタビューをしよう
- ・図書館で調べよう
- ・手紙で書いてみよう
- ・インターネットで調べよう

